

ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課(☎65-6504)までお知らせください。

長浜市公式 SNS

長浜の催しや風景など、自慢の一枚をインスタグラムに投稿していただくと、長浜市公式Instagramアカウントで紹介する「#みんなのちょびっく」はじめました。詳しくは市ホームページをご覧ください。見聞録のイベントは市公式 Facebook ページでもさらに詳しくみることができます。
<https://www.facebook.com/nagahama.hotnews> 「長浜 ほっとにゅーす」 検索



1月27日(土) 親子で仲良くそば打ち体験

長浜小学校の児童が参加する体験学習「土曜学び座」の一環として、手打ちそば体験が行われ、親子19組が参加しました。市内でそばを栽培する奥田為与門さんが、そば粉の混ぜ方、水の量、水の入れ方などわかりやすく指導され、参加した親子は、それぞれ工夫しながらそば作りに取り組みました。時折り会場は笑い声に包まれ、おいしそうなおそばができました。



1月27日(土) 俳句を楽しく学べるライブ

北ビワコホテルグラツィエで「長浜盆梅展句会ライブ」が行われ、県内外からおおよそ200人が集まり、俳句を学びました。講師は、テレビやラジオで活躍する夏井いつき先生。俳句を作るための観察力や季語の使い方など、大切なポイントについて説明が行われました。その後、参加者は梅にちなんだ季語を使った俳句に挑戦。様々な句が詠まれ会場は大いに盛り上がりしました。



1月28日(日) 日中の文化交流が行われました

旧暦の正月である春節に、長浜市日中友好協会主催の「長浜日中友好春節祭」が盛大に開催され、130人が集まりました。異国の人が交流するために一番大切なことは、互いの文化を理解すること。この日はそれぞれの国のダンス・音楽などが披露されました。また、ちらし寿司や餃子などの料理が並び、参加した人は異文化交流を楽しみました。



1月29日(月) 歴史まちづくりの飛躍を目指して

日本遺産に申請中の「秀吉が造ったコンパクトシティ・長浜城下町」を盛り上げるため、市民有志38人が長浜城下町まちづくり勉強会を立ち上げました。第1回目となった勉強会では、長浜の近代の歴史とまちづくりを支えた人々について学び、それを生かしたまちづくりについて話し合いをしました。勉強会は今後も定期的に関き、長浜の歴史まちづくりを盛り上げていくとのことです。



2月3日(土) 1か月後の完成が待ち遠しいです

慶雲館で「梅酒作りワークショップ」が行われました。このイベントは盆梅展にあわせて開かれている「長浜梅酒祭り」の一環として行われたもので、今年で4回目となります。日本でただ一人の梅酒ソムリエ金谷優さんが講師をつとめ、梅酒作りのコツを伝えた後、参加者が梅酒作りに挑戦しました。今回漬けた梅酒が飲めるのは1か月後。参加した人たちはできあがった梅酒を想像し、飲める日が待ち遠しい様子でした。



2月4日(日) ジビエで地域を盛り上げる

西浅井支所前でジビエ料理が一堂に会するイベント「西浅井ジビエ村」が行われました。このイベントは、西浅井地域に活気を取り戻そうと活動している有志団体「ONESLASH」と、鹿肉バーガーでジビエの良さをPRしている「からくりや」が初めて開催したものです。12店舗が出店し、熊のきのこ汁などが提供されたほか、イノシシの丸焼きが振舞われ、会場は多くの人で賑わいました。

2月10日(土)～12日(月・振休) 写真を通じて、木之本を紹介

きのもと交遊館で「木之本物展」が開催されました。これは代々続くものづくりの店やそこに携わる人々を写真で紹介しようと、地域おこし協力隊植田 淳平さんと地元カメラ愛好家が協力して開催した写真展です。木之本にある商店の写真や木之本地区一帯の暮らしの風景、普段見られない店舗の舞台裏の写真も展示されており、訪れた人たちは写真に見入っていました。



2月11日(日) きもの姿で優雅な早春のひととき

長浜ロイヤルホテルおよび慶雲館で「長浜きもの早春のつどい」が開催され、きもの姿の男女73人が参加しました。清水寺執事補大西 晶 允氏の講演「花も心より咲く」では、仏教の教えと日常生活の関わりが紹介され、参加者は熱心に聞き入っていました。その後は、盆梅のライトアップを鑑賞。幻想的な雰囲気を楽しみ、盆梅展に訪れていた観客に写真のモデルを頼まれるなど、きもの姿での体験を満喫しました。

